

視察報告書

富山県富山市・滋賀県守山市

令和元年5月 21 日(火)~22 日(水)



(於:富山市ストリートスポーツパーク)

松阪市議会 市民クラブ

松阪市議会議長 中島 清晴 様

令和元年 6 月 3 日

松阪市議会

市民クラブ 楠谷さゆり

令和元年5月 21 日(火)から5月 22 日(水)の間、行政視察を実施致しましたので、下記のとおり報告致します。

記

1.参加者

楠谷さゆり(家族危篤のため、21 日のみの参加) 中島清晴 橘大介

2.視察先及び視察事項

(1)富山県富山市

富山市ストリートスポーツパークについて

(2)滋賀県守山市

ビワイチ・サイクルサポートステーションについて

3.視察内容 別紙のとおり

- I. 富山県富山市 富山市ストリートスポーツパークについて
- 日時: 5月21日(火)13:50~14:50
- 場所: NIKS スポーツアカデミー(富山市ストリートスポーツパーク)
- 対応: 富山市スポーツ健康課課長代理中林隆典金様
NIKs スポーツアカデミー 老松一瑛様
富山市議会事務局議事調査課主任 牧石真理様

1. 富山市の概要

面積 1,241.77 平方キロメートル(松阪市 624 平方キロメートル)

人口 41 万 5904 人 (松阪市 16 万 3863 人)

富山市は、日本海側のほぼ中央に位置し、水深 1,000m の「海の幸の宝庫」富山湾から標高 3,000m 級の北アルプス立山連峰まで標高差 4,000m の多様な地勢と雄大な自然を誇り、また、古くから「くすりのまち」として全国にその名が知られるように、薬業をはじめとする様々な産業と高度な都市機能、そして多様な文化と歴史を併せ持つ日本海側有数の中核都市として発展を続けている。

特に、平成 27 年 3 月に開通した北陸新幹線と在来線の高架化事業により、公共交通機関が集積する富山駅周辺の利便性は高まり、地域の発展にも波及効果が大きいものとなっている。

また、平成 24 年 6 月、OECD によって持続可能な都市経営やコンパクトなまちづくりが評価され、メルボルン、バンクーバー、パリ、ポートランドと並び世界の先進モデルに選出されたこともあって、諸外国で開催される国際会議への招聘が大きく増加。同時に海外からの視察も増加しており、活気を感じさせるまちとなっている。

2. 富山市ストリートスポーツパークの概要

平成 26 年 5 月にオープンしたこのスポーツパークは、スケートエリアの他にもダンスゾーンとボルダリングゾーンがあり、施設の面積は 10,526 平方メートル、それに 111 台(内マイクロ2台)分の駐車場が隣接する。さらにスケートエリアは、ファミリーエリア、ストリートエリア、ボウルエリアに分かれ、全体をカリフォルニアスケートパーク社のビル・ミナデオ氏が設計・監修した国内最大級のスケートエリアとなっている。

松阪市のスケートパークもこの施設をモデルとしたものである。

競技の種類としては、スケートボード、インラインスケート、BMX(バイシクルモトクロス)、マウンテンボードの4種類が全てのエリアで利用することができる。ヘルメット無しでの滑走は不可である。

供用時間は、月曜～金曜は午後1時～8時。土曜は午前10時～午後8時。日曜・祭日は午前10時～午後7時となっている。スケートゾーンの使用料金は、高校生以上が1回400円、中学生以下1回200円であるが、他にも期間使用の1月券、3月券、6月券もある。貸出用のスケートボードとヘルメット・プロテクターも備えている。

3. 運営状況について

オープンした平成26年度は開場日数が少なかったにもかかわらず13万人を超えた利用者があったが、徐々に減少して、平成30年度は約10万人となっている。利用者の減少については、登録者数も減少しているが、コアな利用者が固定してきたためと分析している。全国各地に建設が進んだ要因もあるものと考えられる。県内・県外の分類では、県外登録者数が県内登録者数を上回っている状況である。

真夏は近年の高温のため利用者は季節の良い時と比較すると減少する。冬季は、利用者の多い5月の3分の1以下の利用者数に落ち込むが、これは北陸特有の積雪によるものであり、屋外施設であることは天候に左右されるのが宿命でやむを得ないと思われる。

大会としては、地元の企業や愛好団体が主催する大会が毎年開催される。オープン当初のような年に数回の大会やイベントの開催は、近年は見られない。

4. 施設の課題・問題点

屋外施設であることから、天候に左右されることと、北陸特有の積雪により、利用できないことがある。また、全国各地にスケートパークが建設されたこともあって利用者数がやや減少気味である。これら課題解決に向けて、専門誌に施設の紹介記事を掲載して利用者の認知を図ったり、また、当初はスケートボード、BMX、インラインスケートの3種目の利用としていたが、マウンテンボードも利用を可として、利用者の増加を図っている。

問題点として、供用開始から5年が経過し、屋外施設であることからコンクリート表面の状態が悪くなってきたこと。コンクリートの耐用年数を考慮した場合、表面の補修が必要である。しかしながら、コンクリート保護剤などの塗布による表面劣化の軽減を図るには多額の費用を要するため、実施には至っていない。

5. 事故への対処法

利用者登録の際に、同意書を自署記名して事故等における自己責任について周知を図っている。万一、施設内での転倒などにより怪我をした場合は、管理人等による判断で救急車を要請するとともに、市スポーツ健康課職員への連絡と事故報告書の作成による報告を行なっている。

怪我は、転倒による手首や足首の骨折が多く、ほとんどが初心者によるものである。救急車の出動要

請はオープン H26 年の8件が最多で、それ以降減少している。利用者のスキルが上達してきたためと考えられる。また、任意団体による注意喚起により、4種目の同時利用でも何ら問題は発生していない。

6. 質疑応答

Q: この施設は合宿には利用されているのか。

A: オリンピックの合宿に利用して欲しいが、他所に、より良いものができたため可能性は低い。

Q: ダンスゾーンには使用料は発生するのか。

A: 団体でのイベントには使用料を徴収するが、個人使用は無料である。

Q: 施設の利用者による地元飲食店などへの経済波及効果は。

A: イベントのある時には利用者が近くの飲食店を利用することはあるが、この地域の飲食店は1軒しかなく、それほど波及効果があるとは言えない。元々がスポーツ施設であり、経済効果を求めるものではないと考えている。

Q: 利用者はどのような頻度で利用しているのか。

A: 週に2~3回という利用者も多い。会社や学校が終わるところから来る利用者が多い。

7. 所感

公営のスケートパークは、2000年代に入ってから全国で飛躍的に増加した。比較的若い世代を中心に愛好者を増やしているスケートボードは、ストリートスポーツとも称されるものの一つで、日本では元々は道路など生活空間を使って楽しめるものであった。

松阪市もそうであるように、愛好者や市民団体からの要望で建設されるケースが多く、社会的ニーズによる設置が多いと言われている。しかしながら、松阪市のスケートパークも典型的なスポーツ施設ではあるものの、総工費と今後の維持管理費を懸念し、特にストリートスポーツに無関心な市民からはいまだに建設を疑問視する声もあるのが現実である。運動施設は市民の健康の増進のため整備されるものであって経済効果を求めるものではないが、全世代の理解を得ることが困難な施設であると言えるため、健全な運営方法を模索し、可能な限り地元で経済波及効果があるのが望ましいと思われる。

2020年東京オリンピックでの正式競技に認定されたスケートボードであることから、今は追い風であり、この「風」を松阪市に継続して吹かせていくのは、行政だけではなく、民間団体の協力も必要であり、富山市の例のように企業との連携や任意団体との関係性を大切にしていくことも不可欠である。

II. 滋賀県守山市 自転車によるまちづくりについて

日時: 5月22日(火)13:00~14:30

場所: 守山市役所

対応: 守山市議会 議長 藤木 猛様

議会事務局 課長補佐 松山正様

地域振興・交通政策課自転車施策推進担当 杉本悠太様

1. 守山市の概要

面積 55.74 平方キロメートル(陸地面積 45 平方キロメートル)

人口 8万 3,313 人 (2009 年/3月末)

守山市は、琵琶湖の南東部を形成する湖南平野の中央部に位置する。南は草津市、栗東市、東は野洲市に接しており、大津市湖南広域市町村圏5市の中で、大津市・草津市とならんで中心的都市として発展してきた。

市域は東西8.4 km、南北 12.2 km(南端による計測)、総面積 55.74 平方キロメートルを有し、標高は最高地 106.1m、最低地 83.7m で南東から北西に向けて極めてゆるい傾斜をもつ平坦な田園都市。

2. びわ湖一周サイクリング-ピワイチの概要

守山市では、平成 29 年 4 月 6 日に琵琶湖岸第二なぎさ公園に「琵琶湖サイクリストの聖地碑」を設置するなど、ピワイチ起点のまちをキーワードに、守山市やピワイチの認知度向上と県内外からのサイクリストの誘客に向けて取り組んだ。

こうした中、守山市や滋賀県へのさらなる誘客を図るため、滋賀県の道を熟知し関西を拠点に活躍されるプロサイクリスト、三船雅彦氏に監修を依頼し、「ピワイチ推奨コースマップ」を制作する。

3. コースマップの内容

推奨コースは、ピワイチのほか6コースで、彦根、高島や信楽方面等へ回るコースのほか、京都から守山市に向かう走りやすいコースなどを施設や店舗情報を交えて紹介しているほか、自転車を持ち込みして電車に乗れるサイクルトレインや琵琶湖に浮かぶ「沖島」などのサイクリングにおすすめのコンテンツも掲載している。

4. コースマップの特徴

各コースの特徴を三船氏がワンポイントアドバイスしている。各コースとも三船氏によるコース紹介、走行風景を動画編集し、QR コードでリンクを貼り、実際に走った時の景色が味わえる。各コースは URL に

よって、スマートフォン上にルートダウンロードでき、走行計画や現在地の把握がしやすくなっている。コースマップの仕様について「何度も使用でき、持ち運びやすい」をキーワードに、作成。紙はレインガードという素材で、防水加工となっている。A2 サイズ、裏表印刷、折り畳み式。折り畳み後は、縦 14cm×横 7.5cm(スマートフォンと同程度のサイズ。)サイクリングウェアのバックポケット入る仕様になっている。

5. なぜ、ビワイチなのか

- ・ビワイチサイクル1番の人気スポット「琵琶湖大橋」の袂に位置する。
- ・琵琶湖大橋は滋賀県の交通の大動脈である。
- ・京都から車で1時間など京阪神・名古屋からもアクセスが良好である。
- ・市内は、高低差がほとんどない、自転車で移動しやすい地形が特徴。

6. びわ湖一周サイクリング-ビワイチの課題

1 自治体間の連携

県内の連携、琵琶湖河川事務所、滋賀国道事務所など国への連携強化。自転車まちづくりを推進する自治体による全国ネットワークの構築を課題とする。

2 民間企業との連携の強化

- ・自転車新文化を広めるため、市内、県外の企業とさらなる連携。
- ・地域銀行、企業と連携し、企業活動によるビワイチおもてなし環境整備を行う。
- ・サイクリング拠点併設の「道の駅」の検討。

3 広域連携による PR、インバウンド誘致

- ・しまなみ、アワイチ、他のサイクリングルートと連携。
- ・官公庁 VJ(ビシット・ジャパン)事業に参画し、インバウンド誘致に向け PR。

7. 所感

守山市は、琵琶湖や比良・比叡などの山並みがあり、非常に素晴らしい景観をもつ「田園都市」である。京都から車で1時間ほどの京阪神・名古屋からのアクセスも良好であり、市内は、高低差がほとんどない。自転車で移動しやすい地形がびわ湖一周サイクリング-ピワイチが行われる理由である。

自治体間の連携、民間企業との連携の強化。自転車新文化を広めるため、企業活動によるピワイチおもてなし環境整備などの課題がある。またPR、インバウンド誘致も必要と考える。

以上を含めスポーツツーリズムという視点で、先進地の事例を学び参考になった。スポーツと観光の連携、ユーチューブなどのSNSの情報発信など成功モデルを知ることができ、今後は松阪市において、スポーツツーリズムの可能性について、しっかりと協議する研究材料としたい。



守山市役所にて